

本音 DE ゆうとーみー

京都チャンネル
共同企画

新生・鮒鶴、 その仕掛人の裏話

野田 関さんからココ（サリバーオリエンタル）の話伺ったのが去年の今ごろ。梅雨入りの頃だったかな。僕、まさか850坪の物件の仕事が来るとは思わなかったから、全然信用してなくて。

関 そうそう。しかも歴史が130年もある建物だってこともあって。

野田 でも、別件ですぐ京都に来ることがあって、たまたま川端松原の信号でタクシーが止まったんですよ。そして「フナツル」って看板が見えて。「えっ、あれ？」って驚いて。

関 正直言って、僕が野田さんをココに引っ張って着た時は、あくまでも建て替えて新築することになってたんですよ。まあ、野田さんの一言で「残しましょうよ」って。僕は仕事がひとつ減ったなと思いましたが



「日本ベンチャーの父」の三男坊に生まれ、ジミ婚の仕掛け人として知られる実業家・野田豊。「日本現代建築の雄」に学び、類い希な剛腕、かつ細やかな作品造りで注目される建築家・關聡志。ともに手掛けた「THE RIVER ORIENTAL」にて、苦労バナンやよせる期待を語り合い、鴨川沿いに顕れる京都の姿を浮き彫りにしていく…。

第13回の舞台は、木原町に突如現われたレストラン&ウェディングステージ「THE RIVER ORIENTAL」。対談ゲストは2両名ともこの新空間の仕掛人として、熱いトークはブレカーも落ちる勢い。歯に衣を着せない野田氏の東京節が心地よく響いた

野田 設計費はだいぶ下がったよね（笑）。でも、大体こんな巨大な木造建築って残ってないじゃないですか。



關聡志建築設計事務所 代表

せき・さとし 關 聡志

'63年岐阜県生まれ、京都在住。大胆かつ細やかな作品作りで知られる建築家。作家性を重視しつつも、施主および利用者のニーズを見事に盛り込んだ時代のカタチを創造する。師匠は「日本現代建築の雄」高松伸。1985年ベネチアビエンナーレ国際建築展入賞（高松氏と共同）をはじめ、受賞歴も多数。現在、京都精華大学芸術学部で教職もっている



代表作「岡崎歯科医院」（写真／1998年竣工）。空に浮かぶ船を連想させる新斬かつ優しいフォルムが目を引く。最新作「THE RIVER ORIENTAL」では和洋および新旧の融合を見事に実現



株式会社ブランドゥーシー 代表取締役

のだ・ゆたか 野田 豊

'68年東京生まれ、東京在住。高感度のアンテナ、独創的な発想、抜群の機動力を持つ青年実業家。あの「ジミ婚」の仕掛人としても知られる。現在は宴会業を中心とした企画・マネジメント全般を手掛け、コンセプト作りから運営まで、トータルに手腕を発揮している。富城大学学長および経営学者である父・野田一夫氏は「日本のベンチャーの父」として有名



初手に手掛けた「代官山プレイス」（1993年）。建物の外観はそのままだに、ウェディングスペースとして再生した。代表作は「THE TOKYO RESTAURANT」（1998年）。現在、NYスタイルからアジアンへ改造中

しかも、あのレトロなエレベーターに、3階の折上げ格天井（おりあげこうてんじょう）という普請の良き。ちょうど世界的にオリエンタルブームの今、ここを建て替えちゃうのはすごく惜しいと思ってる。大変だったんですか？

野田 うん。大変。リクエストキツイしね（笑）。和のものってこちんまり区切ってるけど、宴会場にするなら、バカコンと壁抜いてかなきゃ。

関 僕が和風とか伝統建築でなく、ヨーロッパ建築の方に興味があったってのもあったし、加えてこの壁をぶち抜くことで耐久性はどうかって問題があった。地震がきた時につぶれないか、傾かないかって。でも、野田さんが壁を抜かないとオペレーションできないって言うから。

野田 大変だった…。

でも、すごくいい勉強になった。これだけの規模の木造建築自体が珍しいし、こうゆう仕事にタッチできる建築家も世の中に数少ないだろうし。ましてやこれだけの厳しいオーダーに遭遇する人も希だ

野田 いや、ご迷惑をおかけします。この建物って木造5階建てでしょう。現行の法律上にはありえないものなんですよね。そこにメスを入れるとなると、僕はもちろん、官公庁の人たち、京都市の専門家の人とか、みんなが迷う。で、工事する人も、「わたしが下手に触ったら、それこそ会社の看板に傷が付く」がそれでもやらないと店として成り立たない。そんな狭間で仕事が出来て、これが結構楽しい体験だった。それに、野田さんのほっぽって切り替えて、直接的に動く部分っていうのも、すごく新鮮で。京都の人はあんまり直接的なことをいうのは恥ずかしいって言うか。「川だからリバーだ、オリエンタルだ」ってね。もう少しオブジェクトに包んでニュアンスで伝えないかって考えてしまう。

野田 京都の人に怒られるかも知れないけど、昔から日本の首都にあってたでしょう。天皇陛下がいまして、「全国からいいものをみんな京都に持ってきなさい」って。そうして、いい職人とか、いい食材が入ってきて、高い文化が生まれてきた。だから、外から京都に乗り込んでくる人っていうのは、分かってもらうためにストレートに表現しなくちゃいけない。その善し悪しを



「THE RIVER ORIENTAL」は、京都市下京区木置町に位置する、京都市の中心部にあり、京都市の歴史と文化を大切にしながら、新しいライフスタイルを提案するホテルです。



ソフトシェルクラブロール 1300円
 四川風蒸し鶏 1300円
 イカと野菜のサラダ 豆鼓のサルサソース 1300円
 シンガポールスタイル 牛肉のサテ 1400円
 エイジアンスタイル 季節の魚のカルパッチョ1300円
 シャンパン モエ シャンドン6000円(ボトル)

総料理長
 菅原健二さん



ロスに本店を構える「SPAGO(スパゴ) 東京店の料理長を経て、「THE RIVER ORIENTAL」シェフに就任。話題の新ジャンル「インターナショナル・キウイ」を手に掛ける数少ない料理人のひとり。素材の持ち味を生かした独創的な品々が早くも話題に

THE RIVER ORIENTAL (ザリバー オリエンタル)

京都市下京区木置町通松原上ル
 TEL.075 351 8541
 17:00~23:00 (L.O.22:00) / 火休
 ※要予約
 ※床チャージ1000円/1テーブル



株式会社野田 五代目当主
 田中博
 京都最大級の木造建築を誇る料理旅館「船箱」の代表。今春「THE RIVER ORIENTAL」と名を改め、新時代の「真」の形、新生ホテルをスタートさせた

「時代の流れで、室の形は変化してきました。そこで關さんと野田さんの提案を取り入れ、建物を残しつつも新しいコンセプトで出発することに。仕上がりに想像以上です。しかも若い人だけでなく、古い方々にも関心していただいています。本当に嬉しい驚きです」

「本音DEゆうと〜み〜」は、京都チャンネル(スカイパーフェクTV! ch726)と本誌CFが共同制作するメディアミックス企画。京都人の本音トークを通じて、京文化の楽しみ方や日常生活の応用法、ビジネスへの活用法を探るのが目的だ。第13回の「關 徳志 vs 野田 豊」は京都チャンネルで6/12より数回にわたって放映されている。

企画・制作/京都チャンネル 月刊「CF(シー・エフ)」
 構成・演出/「本音DEゆうと〜み〜」HONNE DE YOU TO ME」企画プロジェクト
 ●資料請求・加入の問い合わせはスカイパーフェクTV! カスタマーセンターまで。
 TEL.0570-039-888 (10:00~20:00)

川辺に見える
 京の悲しい摂理

野田 普請のいい町家や木造の空間って、今の時代、すごく求められている。なのに、この辺のいい旅館って、普段使いじゃありません。それがもともと日常の空間になれば、若い子でも来て触れることができるようになる。ひとり1万円も取ったら、普通の人はさうそう

野田 ザリバー オリエンタルも、その見極めを受けてる最中。受け入れてもらえたら、京都人にはなれないだろうけど、仲間入り、ぐらいいは認知してもらえないかな。

つける事には、京都の人はめっちゃめっちゃ慣れてると思っ
 うんです。京都の人に認められてきたものが、今、この街に残ってるわけでしょう。



野田 お願いのいい町家や木造の空間って、今の時代、すごく求められている。なのに、この辺のいい旅館って、普段使いじゃありません。それがもともと日常の空間になれば、若い子でも来て触れることができるようになる。ひとり1万円も取ったら、普通の人はさうそう

野田 普請のいい町家や木造の空間って、今の時代、すごく求められている。なのに、この辺のいい旅館って、普段使いじゃありません。それがもともと日常の空間になれば、若い子でも来て触れることができるようになる。ひとり1万円も取ったら、普通の人はさうそう

野田 ザリバー オリエンタルも、その見極めを受けてる最中。受け入れてもらえたら、京都人にはなれないだろうけど、仲間入り、ぐらいいは認知してもらえないかな。

来られない。とくに床ともなればね。でも、僕はココに京都の人にきて欲しいんですよ。5月〜9月には京都人は毎晩川辺で宴を楽しむ。そんな生き方やスタイルって、すごくいいじゃないですか。關さんは床に行きますか?



野田 演じる、もともと凝っていいのになと思う。イタリアンレストランの床なら、目の前の川に船を浮かべてカンツォーネ歌ってくれたり、バーならジャズの生演奏とか。

野田 確かに、伝統を守らなきゃいかんって思うあまり、新しいものを規制することで押し込めるのはある。でも、いいものは残るし、ダメなものは勝手に去っていくもんだよ。100年以上前の京都には、九州や江戸からいろんな逸品が入ってきて、統一感なんてなかったらうし、でも何でも取り入れてきたかという、いいものだけが厳選されてたと思うわけ。

野田 演じる、もともと凝っていいのになと思う。イタリアンレストランの床なら、目の前の川に船を浮かべてカンツォーネ歌ってくれたり、バーならジャズの生演奏とか。

い。美味しいかっていうと、料理人さんが目の前で調理してくれるものの方がいいわけね。
野田 ベケベケの鮎とか出てきて。
野田 うん。そうならざるを得ない。「床だから、冷めてもいい」って風に。



野田 うん。東山の長楽館も建ったときは猛反対だったんだよね。それが今になって大事にされて。東京駅だって、帝国ホテルだって、出来たときはほとんどない代物だったわけだし。でも、それが日本の文化だと僕は思う。だから京都にも、もっと自由さが欲しいんだよね。

野田 うん。東山の長楽館も建ったときは猛反対だったんだよね。それが今になって大事にされて。東京駅だって、帝国ホテルだって、出来たときはほとんどない代物だったわけだし。でも、それが日本の文化だと僕は思う。だから京都にも、もっと自由さが欲しいんだよね。

負ってても、裏で電子レンジでごはん作ってるのはおかしいですもんね。京風の記号ばっかりの街になっちゃったら、本当に取り残れますから。もっとと自然の摂理にゆだねた方がいいって、野田さんの意見にはすごく賛成です。実際、新しいものに批判的な人たちが「正しい」景観って想像のもの。100年前の風景を知ってるわけじゃないし、子どもの頃の景色が正しいかどうかなんて基準そのものが不明瞭ですよね。だから、「正しい景観」ってものに、僕はすごくエゴを感じます。京都だけが清水寺とか金閣寺の頃に戻さうっていうのもおかしい話だし。それに、清水寺も金閣寺も、出来た当初はず〜奇抜だ。

負ってても、裏で電子レンジでごはん作ってるのはおかしいですもんね。京風の記号ばっかりの街になっちゃったら、本当に取り残れますから。もっとと自然の摂理にゆだねた方がいいって、野田さんの意見にはすごく賛成です。実際、新しいものに批判的な人たちが「正しい」景観って想像のもの。100年前の風景を知ってるわけじゃないし、子どもの頃の景色が正しいかどうかなんて基準そのものが不明瞭ですよね。だから、「正しい景観」ってものに、僕はすごくエゴを感じます。京都だけが清水寺とか金閣寺の頃に戻さうっていうのもおかしい話だし。それに、清水寺も金閣寺も、出来た当初はず〜奇抜だ。

